## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

08-156022

(43) Date of publication of application: 18.06.1996

(51)Int.CI.

B29C 45/14

B29C 33/12

B60R 7/04

B60R 21/04

// B29K105:20

B29L 31:58

(21)Application number: 06-331505

(71)Applicant: INOAC CORP

(22)Date of filing:

10.12.1994

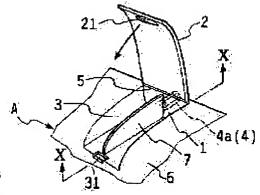
(72)Inventor: KAWAMOTO HIROSHI

## (54) INSERT OF SYNTHETIC RESIN

## (57) Abstract:

PURPOSE: To facilitate a molding process and prevent burrs from sticking to the surroundings of an installation shaft in foam molding by attaching a covering lid part to the tip of a grooved wall surface with a hinge part used as a fulcrum to constitute a closed space in a part of an insert in the covering lid part, a plate-receiving part and the grooved wall surface, and providing an installation shaft on the outer surface of the closed space.

CONSTITUTION: A covering lid part 2 is extended on one lateral end of a plate receiving part 1 which supports a boss 4a for installation, through a hinge part 5, and the hinge part 5, formed in a thin wall has a hinge function. After attaching the covering lid part 2 to the grooved wall surface 3, the covering lid part 2 is caused to constitute a



part of a base face 6. Thus, a closed space is formed by the covering lid part 2, the grooved wall surface 3 and the plate-receiving part 1 to achieve the gently sloping state of the base face 6 as a whole. In this cass, the boss 4a for installation is short and no crack generates on the root of the installation shaft of an insert die. In addition, a closed space is formed so that the wall thickness of a foam layer does not change significantly without any fear of generating void. Further, the entire plate- receiving part 1 comes into contact with the die face of a

BEST AVAILABLE COPY

foaming die, so that it is possible to completely prevent a foaming material from penetrating into the boss 4a for installation.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

CEST AVAILABLE COPY

# (12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-156022

(43)公開日 平成8年(1996)6月18日

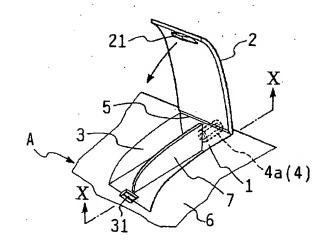
(51) Int. C1. 6		識別記号		庁内整理番号		FI.		技術表示箇所
B 2 9 C	45/14			9156-4 F			•	
	33/12			9543 4	F			
B 6 0 R	7/04		C					
	21/04		F					
// B29K	105:20							
	審査請求	未請求	請求項	の数4	FD		(全6頁)	最終頁に続く
(21)出願番号	出願番号 特願平6~331505					(71)出願人	000119232	
(22)出願日	平成6年 (1994) 12月10日						株式会社イノアックコー 愛知県名古屋市中村区4	
					.	(72)発明者	川本 宏	
							愛知県安城市藤井町東長	長先8番地1 株式会
							社イノアックコーポレー	ーション桜井事業所
•					-		内	
					-	(74)代理人	弁理士 小林 宜延	
·								

### (54) 【発明の名称】合成樹脂製インサート

#### (57)【要約】

【目的】 樹脂成形し易く且つ発泡成形で取付軸周りに バリが付着することのない合成樹脂製インサートを提供 する。

【構成】 相手部材への取付軸4を備え、発泡成形で発泡体と一体化する合成樹脂製インサートAであって、一側に前記取付軸4を立設した受盤部1と、該受盤部1の一側端からヒンジ部5を介して延設した覆蓋部2と、前記受盤部1の前記ヒンジ部5を除く他の端縁からインサートAのベース面6に向かって配設され、一端が前記受盤部1により閉鎖された溝状壁面3と、を具備して、前記ヒンジ部5を支点に覆蓋部2が前記溝状壁面3の頂部に被着されることにより、該覆蓋部2、前記受盤部1及び溝状壁面3によってインサートAの一部に閉空間Sを構成すると共に該閉空間sの外面に取付軸4を外方に向かって設けた。



**PEST AVAILABLE COPY** 

(2)

特開平8-156022

I

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 相手部材への取付軸を備え、発泡成形で発泡体と一体化する合成樹脂製インサートであって、一側に前記取付軸を立設した受盤部(1)と、該受盤部の一側端からヒンジ部を介して延設した覆蓋部(2)と、前記受盤部の前記ヒンジ部を除く他の端縁からインサートのベース面に向かって配設され、一端が前記受盤部により閉鎖された溝状壁面(3)と、を具備して、前記ヒンジ部を支点に覆蓋部が前記溝状壁面の頂部に被着されることにより、該覆蓋部、前記受盤部及び溝状壁面によってインサートの一部に閉空間を構成すると共に該閉空間の外面に取付軸を外方に向かって設けたことを特徴とする合成樹脂製インサート。

【請求項2】 前記取付軸が取付け用ボスで構成される 請求項1記載の合成樹脂製インサート。

【請求項3】 覆蓋部の先端部分に突起体を設け、更に、該覆蓋部の溝状壁面への被着時に、前記突起体が当接する箇所に該突起体と嵌合する止孔を形成した請求項1又は2記載の合成樹脂製インサート。

【請求項4】 構状壁面の湾状窪み内に補強リブを配設 20 した請求項1乃至3のいずれかに記載の合成樹脂製イン サート。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、発泡成形で発泡体と一 . 体化する補強用芯材たる合成樹脂製インサートに関する。

#### [0002]

【従来の技術】周知のように、ポリウレタンフォーム等の発泡性合成樹脂により種々の自動車用内装品が成形さ 30 れている。この自動車用内装品(アームレスト、コンソールボックス等)は、発泡体を使ってタッション性、ソフト感等の感触を高めながらも一定の機械的強度を要することから、内部に補強用インサートを配設してインサートとの一体成形が行われる。インサートは、例えばポリプロピレン等からなる射出成形品であり、これを特開平1-36415号公報に示されるように分割型のキャビティ内にセット後、発泡樹脂原料(以下、発泡原料という。)をキャビティ内に注入し発泡成形することで発泡成形品中に埋設される。 40

【0003】ところで、アームレストのような発泡成形品では、インサート9と一体に数本の取付軸92が形成され、これら取付軸92はそれぞれ発泡成形品の取付面から突き出すようにしている(図7)。斯る取付軸92は、相手部材たるドアトリム等の取付孔に嵌挿された後、取付軸先端部にねじ止めや超音波ウェルダーで熱カシメ等が施されることによって、発泡成形品(ここではアームレスト)を相手部材(ここではドアトリム)へ組付ける機能を発揮する。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】しかるに、所望の発泡 成形品を得るため、前述の如くインサートをそのまま分 割型中にセットし発泡成形を行うと、発泡原料が薄い皮 のようなバリとなって取付軸先端部の表面に付着する欠 陥が現われた。このようなバリは、熱カシメ等をする際 に邪魔で取除かねばならず、その除去に手間がかかり、 生産性を低下させた。組付け相手部材へねじ止めする場 合は、取付軸には取付軸と同心状の軸孔を設けたボスが 用いられるが、発泡樹脂がこの軸孔を覆ったり詰まらせ たりすると、とりわけ困難を極めた。斯る対策の一つ に、図8のように、取付軸92周りを補強用リブ93を 介在させて筒状仕切壁94で囲う方法が考えられる (対 策1)。しかし、このような部分を形成するインジェク ション成形のインサート型95は、細長い形状となり (図9) 、成形時、射出圧力の繰返し荷重によって根元 部にクラックkが発生し易い状況にあった。また、この 部分は水管等により冷却することが殆ど不可能であり、 **量産化した場合、かなりの高温となるのは避けられず、** 離型後に製品変形を招き易かった。故に、変形量を少し でも抑えるために、型内冷却時間を延ばさざるを得なか った。こうした不具合の解消策として、図10のような インサート9 a が考えられる(対策2)。図示のごとく 短めの取付軸96とし、インサート用金型の細長いブロ ックを低くすることで、耐久性を向上させるものであ る。ところが、耐久性は改善されるものの、発泡成形過 程で急激な発泡層の肉厚変化が伴う結果、今度は、発泡 体U内に品質不良となるボイド97ができ易くなってい た。加えて、上記いずれの対策も、バリ対策が完全とは いかなかった。図8は発泡型99a, 99bにセットさ れたインサート9を示すが、補強用リブ93, 筒状仕切 壁94の上縁と型面98との線接触によってシールする ために、インサートの変形、寸法バラツキによって、発 泡成形時に発泡型99bとのシール面に隙間ができるこ とがあった。斯る場合、この隙間を通って入り込んだ発 泡原料Fはバリになり、やはり発泡成形品の相手部材へ の組付け作業を厄介にした。

【0005】本発明は上記問題点を克服するもので、樹脂成形し易く且つ発泡成形で取付軸周りにバリが付着することのない合成樹脂製インサートを提供することを目40 的とする。

[0006]

【課題を解決するための手段】第一発明の要旨は、相手部材への取付軸を備え、発泡成形で発泡体と一体化する合成樹脂製インサートであって、一側に前記取付軸を立設した受盤部と、該受盤部の一側端からヒンジ部を介して延設した覆蓋部と、前記受盤部の前記ヒンジ部を除く他の端縁からインサートのベース面に向かって配設され、一端が前記受盤部により閉鎖された溝状壁面と、を具備して、前記ヒンジ部を支点に覆蓋部が前記溝状壁面の頂部に被着されることにより、該覆蓋部、前記受盤部



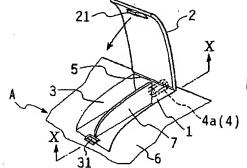
S 閉空間

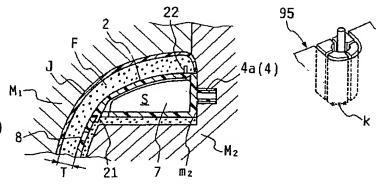
U 発泡体

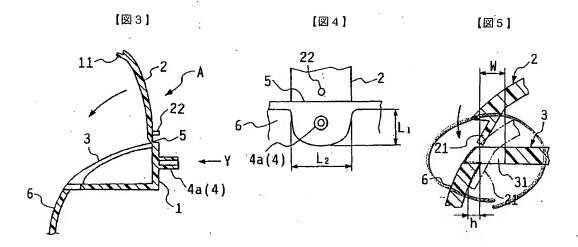
[図1]

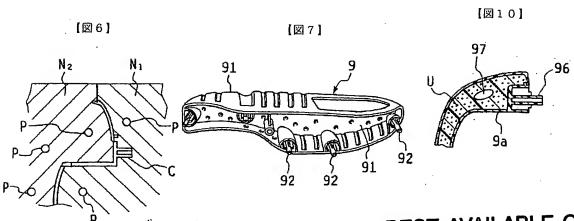
[図2]

【図9】



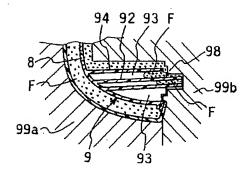






BEST AVAILABLE COPY

【図8】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>
B 2 9 L 31:58

識別記号 广内整理番号

FΙ

技術表示箇所

BEST AVAILABLE COPY